

世界遺産に向かって歩みを進める、  
北海道と北東北に広がる縄文遺跡群。  
未来へつづく、一万年ストーリー。

約1万年にわたって続いた縄文文化は、優れた技術や豊かな精神世界を持ち、高度に発達・成熟した世界的にも貴重な先史時代の文化です。  
胆振地域にも、数多くの縄文遺跡があり、  
その中の北黄金貝塚（伊達市）、入江貝塚・高砂貝塚（洞爺湖町）を含めた「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指しています。

## いぶり歴史遺産 ～縄文遺跡群～

今から約1万5千年前に、先人たちは縄文文化を築きました。  
各地に残る遺跡が、その暮らしぶりを今に伝えています。  
中でも、北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群からは、土器や漆器のほか土偶も豊富に出土するほか、大規模な環状列石なども発見され、縄文文化の特徴を色濃く伝えるものとなっています。

北海道では、これら縄文遺跡群を人類のかけがえのない遺産として後世へ伝えるため、東北3県及び関係市町とともに、胆振の3つの遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取り組みを進めています。  
現在、世界遺産候補としてユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載されています。

詳しくは…

北海道・北東北の縄文遺跡群



## 北海道・北東北の縄文遺跡群

北黄金貝塚は、約 5,500 から 7,000 年前の縄文貝塚遺跡。

北黄金貝塚情報センターでは、出土品や貝塚の断面、墓地などの復元模型の展示や、勾玉づくり、模擬発掘などの体験ができます。

入江貝塚・高砂貝塚は、入江・高砂貝塚館を挟んで所在しています。

入江貝塚は、約 3,000 から 5,000 年前の貝塚。

貝や動物の骨のほか、クジラの骨も出土しています。

高砂貝塚は、約 3,500 年前の貝塚。

約 2,500 年前に作られた 28 基の墓が発見され、墓の周囲にはストーンサークルも見つかっています。



 胆振地域の遺跡名をクリック

## 世界遺産に登録されるのはすごいこと？

世界遺産とは、私たちが守るべき、過去から引き継がれた貴重な文化財や自然です。登録されるためには、厳しい基準をクリアしなければなりません。

北海道・北東北の縄文遺跡群が目指すのは、世界文化遺産。  
ちなみに、世界文化遺産って、どんなものがあるのでしょうか？

日本では、例えば「姫路城」や「法隆寺」、「原爆ドーム」など。  
世界では、例えばフランスの「ヴェルサイユ宮殿」やアメリカの「自由の女神像」など。  
たくさんありすぎて書き切れませんが、未来に伝えるべき、とても重要な遺産ばかりです。

認定されたら、  
北海道で初の世界文化遺産！



北海道 いぶり五大遺産

トップページに戻る

